

## 令和3年度第1回SDGs部会でのご意見等をふまえた対応について

前回のSDGs部会でのご意見をふまえ、今後の対応について以下の通り整理しました。また、申請書やチェックリスト、インセンティブの内容については、複数の企業に対してヒアリングを実施しており、企業から寄せられたご意見をふまえ、中小企業・小規模企業にとって本制度が使いやすくなるよう、今後改善を図っていきます。

こうした今後の進め方において、本制度の実効性を高めていくために留意すべき事項について、ご意見をくださいますようお願いいたします。

### 1 申請書（資料2）関係

#### (1) SDGs部会でのご意見

- ・様式について、新規申請と更新申請は分けたほうがよい。
- ・記載例は必要。さらに、業種別の記載例があると理想的。
- ・2030年の目指す姿の記載が難しい企業もあるのではないかな。
- ・2030年の目指す姿や3側面の考え方について丁寧な説明が必要。
- ・取組や目標について、身近な活動にも目を向けられるようにすべき。

#### (2) 企業ヒアリングでのご意見

- ・重点的な取組は、チェックリストから転記してよいのであれば考えやすい。  
(運送業)
- ・目標を立てさせるのは大事で、目標があることでやろうという気になる。その際、1年で目標達成するのは難しく、3年というのはちょうどよいターム。  
(福祉業)
- ・3側面すべてにチェックを入れることについて、難しいと考える企業もいるかもしれないが、考えるきっかけになることはよい。(福祉業)

#### (3) ご意見をふまえた対応

- ・様式を見直すとともに、記載例を作成しました。今後、複数業種における記載例を充実させていきます。

### 2 チェックリスト（資料3）関係

#### (1) SDGs部会でのご意見

- ・記載例を読んで、ハードルが高いと感じてしまい、登録をあきらめてしまう事業者がいるのではないかな。
- ・「持続可能な社会、地方創生」の項目をより充実させるべき。
- ・「レベル」について、チャレンジ項目に取り組む企業とそうでない企業との公平性を鑑み、基本とチャレンジの間を交換可能としてはどうか。また、中間項目の創設等を検討してはどうか。

## (2) 企業ヒアリングでのご意見

- ・内容が細かく量も多いが、SDGsウォッシュのような取組の実態を伴っていない企業からの申請を防ぐことはできる。(デザイン業)
- ・SDGsの内容を企業の活動に落とし込むツールは必要で、チェックリストはその役目を果たすが、登録の裾野を広げるには内容が難しい。空欄を埋める記入式でなく、記載例から当てはまるものを選ぶ選択式としてはどうか。(運送業)
- ・どれくらいの数の登録を目指すのかにもよるが、年間160者程度を目指すのであれば、記入式であっても難しすぎて集まらないということにはならないのではないか。(福祉業)

## (3) ご意見をふまえた対応

- ・一部の項目において項目名が適切でなかったり、内容の重複がみられたりした箇所について修正しました。
- ・各項目の「内容」について、できるだけ簡単な表現となるよう見直しました。
- ・「レベル」については、以下のとおり考え方を整理し、見直しを行いました。
  - 基本：中小企業、小規模企業であっても取り組むべきもの（法や条例で規定されているなど義務的なものや、最初のハードルが低く、十分取り組めると考えられるもの）。
  - チャレンジ：基本に加えて、県として積極的に取り組んでほしいと考えるもの。ただし、取り組むためにはそれなりの経費がかかったり、一部の業種にしか当てはまらない可能性が高かったりするため、必須の項目とはできないもの。これらをふまえ、基本とチャレンジの交換を認めることや、中間項目の創設は行わないこととしました。
- ・「分類」について、「持続可能な社会、地方創生」という名称は他の分類にも当てはまってしまう名称となっていたため、より適切な「地域社会への参画と貢献」へ修正しました。なお、当該項目においては、「地域貢献活動」という項目を5つに細分化することで、地域に密着した取組をイメージでき、書き込みやすくなるよう、充実を図っています。
- ・「記載例」について、中小企業・小規模企業でも取り組めるよう、まず初めに身近な取組例を記載するよう見直しました。特に基本項目については、比較的取り組みやすいと考えられる例を1つ以上記載しました。
- ・チェックリストを選択式にすることはしませんが、申請を検討しているものの、内容が難しいと感じる申請者からの相談に対応するための体制整備について、企業の協力も得ながら構築することを検討します。

### 3 PR関係

#### (1) SDGs部会でのご意見

- ・本制度に登録してSDGsに取り組むことや、自社の得を社会の徳へ切り替えることで、選ばれる企業になるという点について、公益に無関心な企業へのアプローチであることも意識しつつ、丁寧な説明が必要。
- ・県内市町との連携を強化すべき。
- ・周知に際し、SDGsに対する県の取組スタンスを明確化するとよい。
- ・動画、ワークショップなど、わかりやすさや楽しげであることを工夫してはどうか。

#### (2) ご意見をふまえた対応

- ・申請ガイド等において、県のスタンスを明確化するとともに、企業がSDGsに取り組むべき理由を示すこととします。企業をはじめとする申請者の目線で、丁寧かつわかりやすい説明を行います。具体的には資料4の通りです。
- ・SDGs未来都市に選定されている志摩市やいなべ市をはじめとする市町と連携し、制度のスタートに合わせて周知等の協力依頼を行うとともに、制度のスタート後は、登録企業や取組事例等の情報共有を図ります。
- ・制度開始後に、説明会を実施します。その際、ワークショップ等を同時に行うことや、制度の概略などを解説する動画の作成を検討します。
- ・申請を検討しているものの、内容が難しいと感じる申請者からの相談に対応するための体制整備について、企業の協力も得ながら構築することを検討します。(再掲)

### 4 インセンティブ関係

#### (1) SDGs部会でのご意見

- ・効果的なインセンティブを検討するため、企業の悩みや課題を聴き取り、それらをふまえた内容を検討してはどうか。
- ・SNSを活用した企業情報の紹介、学生や県外からの就職・転職希望者向けのPRを検討してはどうか。
- ・入札加点を検討してはどうか。
- ・企業同士のマッチング支援を検討してはどうか。

#### (2) 企業ヒアリングでのご意見

- ・SDGsと銘打ってはいないが、資源の再利用や働き方改革が結果としてコスト削減にもつながるような、SDGsに資する取組は複数実施している一方で、メディアの使い方に課題があり、うまく発信できていない。(印刷業)
- ・SDGsに取り組みたいが何から始めればいいのかわからない、という声をよく聞く。自社の経験を元にアドバイスをしているが、業種も様々であり、相談に乗ってくれるところがあると良い。(デザイン業)
- ・登録企業に対してSDGsバッジを配るとか、割引価格で提供するなどは特典としてあり得るのではないか。(運送業)

- ・企業はどこも人員不足に悩んでいるので、若い人に向けて情報発信するのは良いと思う。ただし、単に冊子を作るとか、HPに載せるだけというのは効果が薄い。また、団体にとっては、登録され、自分たちの活動にお墨付きが出るのがやりがいにつながる。(福祉業)
- ・入札加点は業種が限定的となるが、補助金の要件とすることなどは考えられる。(福祉業)

### (3) ご意見をふまえた対応

- ・インセンティブとして、令和4年度から推進パートナーの取組を発信する際、SNS、  
県のジョブマッチングサイト『「みえ」の仕事マッチングサイト』、  
移住相談センター(就職相談アドバイザー)、  
県内高等教育機関や県外の就職支援協定締結大学  
など、さまざまなチャンネルの活用を検討します。
- ・登録者に対してバッジを配付する予定は今のところありませんが、現在募集中のロゴマークや登録者名を印刷した木製の登録証を交付します。
- ・入札加点や補助金については、登録状況等もふまえ、制度開始後も引き続き検討します。
- ・推進パートナー向けセミナー等の開催を通じた、マッチングや伴走支援につなげていく仕組みを検討します。

## 5 伴走支援関係

### (1) SDGs 部会でのご意見

- ・伴走支援者のレベル感を統一するため、伴走者自体の登録制度を検討してはどうか。
- ・キャリアコンサルタント等、企業に深く入り込む士業の方々に、伴走支援者の役割を担っていただくことを検討してはどうか。

### (2) ご意見をふまえた対応

- ・伴走支援者は、主に本制度への登録後に、SDGsを企業経営においてどのように生かしていくか、あるいは取組のレベルアップのためにどうすべきか等について、個々の企業の相談に乗っていただく方々であると考えています。県ではそうしたノウハウに乏しいため、普段から企業の経営課題に向き合うノウハウを持っている方々に、それぞれの強みを生かして伴走支援者となっていただきたいと考えています。  
こうしたことから、レベル感の統一や、伴走者自体の登録制度にはなじまないと考えていますが、本制度の内容そのものについては、伴走支援者に対して県が責任をもって説明する必要があると考えています。
- ・士業の方が伴走支援を行うことは、個々の企業にとって有効であると考えられるため、協力いただけるような士業の方がいないか、団体等へのPRを検討します。

(参考) 今後のスケジュール (検討中の内容を含むため、暫定)

令和3年10月上旬	「三重県SDGs推進パートナー」募集開始 ロゴマーク選定・公表
11月頃	市町等関係機関への周知協力依頼 登録希望者向け説明会開催 解説動画作成
令和4年 1月末	第1期(12月までの申請分)登録者の公表
4月以降 (時期未定)	登録者の取組事例収集、情報発信等 セミナー等の開催